

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書： (ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION I)

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
五つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものについて理解するとともに、言語材料と言語活動を効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 〔 読 〕	話 〔 発 〕	書					
Unit 1 What can happen in one second? 【知識及び技能】 受け身/不定詞/動名詞を理解させる。 疑問詞やつなぎ言葉について、プレゼンテーションのスタイルに対応した適切な用法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報伝達型プレゼンテーションの場面で、情報や自分の考えなどを、聞き手に伝えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報伝達型プレゼンテーションの場面で、情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話して伝えようとする。	・指導事項 〔題材内容〕 学校新聞の記事などを通して、1秒間に世界で起こっていることについて学ぶ。 〔言語材料〕 受け身/不定詞/動名詞 〔言語活動〕 1秒間にどのように世界が変化しているかを説明する。 〔言語の働き〕 聞き直す/回答する ・教科書、ワーク ・一人1台端末の活用 ・小テスト、パフォーマンステスト		○	○		○					11
Unit 2 What do superstitions mean to you? 【知識及び技能】 助動詞+受け身、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解させる。 条件節と帰結節を用いて、要点書いたり、具体例を提示したりしながら物事を描写する方法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手を意識して要点や具体例を書かせる。 【学びに向かう力、人間性等】 読み手を意識して要点や具体例を書こうとする。	・指導事項 〔題材内容〕 機内誌の記事などを通して、さまざまな国や地域で信じられている迷信について学ぶ。 〔言語材料〕 助動詞+受け身/現在完了進行形 〔言語活動〕 迷信についての自分の価値観を述べる。 〔言語の働き〕 驚く/興味や関心を表す ・教科書、ワーク ・一人1台端末の活用 ・小テスト、パフォーマンステスト		○	○	○		○				11
1 学 定期考査		○	○			○					1

期	<p>Unit 6</p> <p>What are the qualities of a good leader?</p> <p>【知識及び技能】 分詞構文、関係副詞を用いた文の形・意味・用法を理解させる。 リーダーシップに関連した語いや表現を用いるなどして、人物の略歴を紹介する適切な方法を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ある人物を紹介するために、読み手を意識しながら簡潔かつ正確に紹介文を書かせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ある人物を紹介するために、読み手を意識しながら簡潔かつ正確に紹介文を書こうとさせる。</p>	<p>・指導事項 [題材内容] オンライン百科事典の伝記などを通して、優れたリーダーシップをもつ人物の経歴を学ぶ。 [言語材料] 分詞構文／関係副詞where [when/why] [言語活動] 優れたリーダーが備えている資質を説明する。 [言語の働き] 返答する／相づちを打つ</p> <p>・教科書、ワーク ・一人1台端末の活用 ・小テスト、パフォーマンステスト</p>	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】 分詞構文、関係副詞を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 リーダーシップに関連した語いや表現を用いるなどして、人物の略歴を紹介する適切な方法を理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ある人物を紹介するために、読み手を意識しながら簡潔かつ正確に紹介文を書くことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ある人物を紹介するために、読み手を意識しながら簡潔かつ正確に紹介文を書こうとしている。</p>	○	○	○	12
	<p>Speaking Review Task (Unit 5, Unit 6)</p> <p>【知識及び技能】 上記Unit5,6と同様</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 Unit 5、Unit 6で学習した内容を基に、事実や自分の考え、経験などを自立的に話して伝えさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 Unit 5、Unit 6で学習した内容を基に、事実や自分の考え、経験などを自立的に話して伝えようとする。</p>	<p>・指導事項 上記Unit5,6と同様 ・教科書、ワーク ・一人1台端末の活用 ・小テスト、パフォーマンステスト</p>	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】 上記Unit5,6と同様</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 Unit 5、Unit 6で学習した内容を基に、事実や自分の考え、経験などを自立的に話して伝え合うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 Unit 5、Unit 6で学習した内容を基に、事実や自分の考え、経験などを自立的に話して伝え合おうとしている。</p>	○	○	○	4
	定期考査		○	○	○	○		○	○	○	1
3 学 期	<p>Unit 7</p> <p>Where will you live in the future?</p> <p>【知識及び技能】 原形不定詞、仮定法過去完了、過去完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解させる。 場所に関連した語いや表現を用いるなどして、住みたい場所についてのエッセイを書く適切な方法を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 主張を展開するために、読み手を意識しながら首尾一貫性のある原稿を書かせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主張を展開するために、読み手を意識しながら首尾一貫性のある原稿を書こうとさせる。</p>	<p>・指導事項 [題材内容] 英字新聞の記事などを通して、今住んでいる場所を選んだ理由やそこでの暮らしの魅力について学ぶ。 [言語材料] 原形不定詞／仮定法過去完了／過去完了進行形 [言語活動] 人々がどのような理由で住む場所を決めているのかを説明する。 [言語の働き] 反論する／同意する</p> <p>・教科書、ワーク ・一人1台端末の活用 ・小テスト、パフォーマンステスト</p>	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】 原形不定詞、仮定法過去完了、過去完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 場所に関連した語いや表現を用いるなどして、住みたい場所についてのエッセイを書く適切な方法を理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 主張を展開するために、読み手を意識しながら首尾一貫性のある原稿を書くことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主張を展開するために、読み手を意識しながら首尾一貫性のある原稿を書こうとしている。</p>	○	○	○	12
	<p>Unit 8</p> <p>How do cultures and traditions affect teens' lives?</p> <p>【知識及び技能】 関係代名詞what、関係代名詞の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解させる。 プレゼンテーションの場面で、外国の高校生の日常生活について、自分の生活との類似点や相違点に触れながら、その概要を伝える適切な表現や方法を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 プレゼンテーションの場面で、メモを活用して、その概要をわかりやすく話して伝えさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 プレゼンテーションの場面で、メモを活用して、その概要をわかりやすく話して伝えさせる。</p>	<p>・指導事項 [題材内容] ウェブの記事などを通して、世界中のさまざまな成人の儀式について学ぶ。 [言語材料] 関係代名詞what／関係代名詞の非制限用法 [言語活動] 日常生活について、外国のティーンエイジャーと自分との類似点や相違点を説明する。 [言語の働き] 習慣を表す／共感する</p> <p>・教科書、ワーク ・一人1台端末の活用 ・小テスト、パフォーマンステスト</p>	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】 関係代名詞what、関係代名詞の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 プレゼンテーションの場面で、外国の高校生の日常生活について、自分の生活との類似点や相違点に触れながら、その概要を伝える適切な表現や方法を理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 プレゼンテーションの場面で、メモを活用して、その概要をわかりやすく話して伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 プレゼンテーションの場面で、メモを活用して、その概要をわかりやすく話して伝えようとしている。</p>	○	○	○	12
	定期考査		○	○	○	○		○	○	○	1

年間授業計画

翔陽 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現 I

教科：外国語 科目：論理・表現 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ be smartEnglish Logic and Expression I ）

教科 外国語 の目標： 言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	文法の形と意味を理解し、コミュニケーションに活用することができる。	5文型、3 things about yourself, Lesson 1 【題材】自己紹介 【文法】・現在形、現在進行形 Lesson 2 【題材】休日・週末 【文法】・過去形・過去進行形について 学んで理解する。・過去形・過去進行形 を用いて文を作る。 Lesson 3 【題材】予定 【文法】 ・未来を表す表現・未来進行形	<知>文法を理解している。 <思>文法を使って正しく文を読んだり書いたりすることができる。 <主>文法を使って積極的に話そうとしたり、暗唱したりしている。	○	○	○	12
	定期考査						1
	文法の形と意味を理解し、コミュニケーションに活用することができる。	Lesson 4 【題材】旅行 【文法】 ・現在完了形・現在完了進行形 Lesson 5 【題材】学習・課外活動 【文法】・過去完了形・過去完了進行形・未来完了形 Lesson 6 【題材】食べ物 【文法】・能力・可能・推量・許可を表す助動詞 Lesson 7 【題材】学校生活 【文法】 ・義務・確信・推測・後悔を表す助動詞 Lesson 8 【題材】日常生活 【文法】 ・意志・推定・推量・依頼を表す助動詞	<知>文法を理解している。 <思>文法を使って正しく文を読んだり書いたりすることができる。 <主>文法を使って積極的に話そうとしたり、暗唱したりしている。	○	○	○	15
	定期考査						1

翔陽 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 英語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科：英語 科目：英語コミュニケーションⅡ 単位数：4 単位

使用教科書：（ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION Ⅱ）

教科 英語 の目標：
 【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに
 【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用
 【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
五つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものについて理解するとともに、言語材料と言語活動を効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
[言語材料] 助動詞+完了形／不定詞の意味上の主語を理解する。 [言語活動] 絶滅の危機に瀕している動物の特徴や生態などについて説明する。 [言語の働き] 勧める／理解や納得を示す。	Unit 1 What can we do to prevent endemic species from becoming extinct? [題材内容] 若者が旅行をすることの意義と問題を踏まえて、進学・就職前に長期の休暇をとって見聞を広げる「ギャップ・イヤー」という仕組みへの賛否を考える。	[知] 助動詞+完了形、不定詞の意味上の主語を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [思] 絶滅危惧種について、特徴などの重要な点を簡潔に整理して、聞き手に伝えている。 [主] 聞き手にわかりやすく詳細を話して伝えようとしている。	○	○	○	12
[言語材料] 受け身の不定詞／助動詞doによる強調を理解する。 [言語活動] ある論題について、主張と根拠を明確にしながら、ディベートを行う。 [言語の働き] 勧誘する／断る。	Unit 2 Which sports can really be called sports? [題材内容] 年々人気を増すeスポーツの特徴を理解し、伝統的なスポーツとの違いや、スポーツをスポーツたらしめている条件とは何かを考える。	[知] 受け身の不定詞、助動詞doによる強調を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [思] 主張と根拠を伝え合ったりしながら、自分の考えを即興で話して、詳細を伝え合っている。 [主] 主張と根拠を伝え合ったりしながら、自分の考えを即興で話して、詳細を伝え合おうとしている。	○	○	○	12
定期考査						
[言語材料] 先行詞を含む関係副詞／否定語の倒置を理解する。 [言語活動] レストランのレビューや、ほかのレビューへのコメントを書く。 [言語の働き] 提案する／説得する／妥協する。	Unit 3 How do we choose what we eat? [題材内容] 多様な食習慣の背景にある文化や、地球環境への影響について知る。「食べるものを選択する」という視点から、レストランのレビューやコメントも取り上げる。	[知] 先行詞を含む関係副詞、否定語の倒置を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [思] 情報を伝えたり評価づけしたり、感想を述べたりしながら、事実と意見を区別して、詳細を整理して書いている。 [主] 情報を伝えたり評価づけしたり、感想を述べたりしながら、事実と意見を区別して、詳細を整理して書こうとしている。	○	○	○	12
[言語材料] 強調構文／関係副詞の非制限用法を理解する。 [言語活動] 有益だと思う発明品について説明する。 [言語の働き] 想像したことを伝える／相手の考えを聞く。	Unit 4 How have inventions changed history? [題材内容] ペンシリンの発明に至る経緯と、後世に与えた影響について理解する。さらに、現代のさまざまな発明品について、その意義を考える。	[知] 先行詞を含む関係副詞、否定語の倒置を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [思] 情報を伝えたり評価づけしたり、感想を述べたりしながら、事実と意見を区別して、詳細を整理して書いている。 [主] 情報を伝えたり評価づけしたり、感想を述べたりしながら、事実と意見を区別して、詳細を整理して書こうとしている。	○	○	○	12
定期考査						

2 学 期	<p>[言語材料] 接続詞＋分詞／完了不定詞を理解する。</p> <p>[言語活動] 「ギャップ・イヤー」への賛成・反対の意見とその理由を説明する。</p> <p>[言語の働き] 希望を伝える</p>	<p>Unit 5 What can we learn from traveling? [題材内容] 若者が旅行をすることの意義と問題点を踏まえて、進学・就職前に長期の休暇をとって見聞を広げる「ギャップ・イヤー」という仕組みへの賛否を考える。</p>	<p>[知] 接続詞＋分詞，完了不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[思] 利点と欠点を踏まえたうえで，つなぎ言葉を用いながら，構成を意識して，複数のパラグラフで論理的に書いている。</p> <p>[主] 利点と欠点を踏まえたうえで，つなぎ言葉を用いながら，構成を意識して，複数のパラグラフで論理的に書こうとしている。</p>	○	○	○	12
	<p>[言語材料] 部分否定の表現を理解する。</p> <p>[言語活動] 性格が振る舞いに及ぼしている影響について説明する。</p> <p>[言語の働き] 誘いを受け入れる／うまく誘いを断る</p>	<p>Unit 6 How do people's personalities affect their behavior? [題材内容] 内向的な人の特徴や，性格が振る舞いに及ぼす影響について理解する。自分自身やクラスメートの性格の分析を通して，多様性についても考える。</p>	<p>[知] 部分否定を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[思] 割合を表したり解釈を付け加えたりして，詳細を簡潔に整理してプレゼンテーションをする。</p> <p>[主] 割合を表したり解釈を付け加えたりして，詳細を簡潔に整理してプレゼンテーションをしようとしている。</p>	○	○	○	12
	定期考査						
	<p>[言語材料] 受け身の進行形／be動詞＋不定詞を理解している。</p> <p>[言語活動] 紙幣に取り上げるべき人物について意見を述べ合う。</p> <p>[言語の働き] 自分について伝える</p>	<p>Unit 7 Who should we celebrate on our money? [題材内容] 日本の新紙幣の顔となる津田梅子や，アメリカの紙幣への掲載が計画されていたハリエット・タブマンについて知り，紙幣に取り上げるべき人物について考える。</p>	<p>[知] 受け身の進行形，be動詞＋不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[思] 相手の意見に適切に応じながら，自分の考えを即興で話し，ディスカッションしている。</p> <p>[主] 相手の意見に適切に応じながら，自分の考えを即興で話し，ディスカッションしようとしている。</p>	○	○	○	12
	<p>[言語材料] 複合関係副詞を理解している。</p> <p>[言語活動] あるニュースの真偽について意見を述べ合う。</p> <p>[言語の働き] 話題を発展させる／いきさつを説明する</p>	<p>Unit 8 How can we find out if news is real or fake? [題材内容] フェイクニュースの歴史を知る。現在のインターネット上のフェイクニュースの見分け方についても学び，あるニュースの真偽を考察する。</p>	<p>[知] 複合関係副詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[思] 事実と意見を区別しながら，情報や自分の考えを即興で話し，詳細を伝え合っている。</p> <p>[主] 事実と意見を区別しながら，情報や自分の考えを即興で話し，詳細を伝え合おうとしている。</p>	○	○	○	12
定期考査							
3 学 期	<p>[言語材料] 過去の習慣の表現を理解している。</p> <p>[言語活動] ある仕事を選ぶ理由やその仕事への適性を伝え合う。</p> <p>[言語の働き] 将来したい仕事をたずねる，伝える</p>	<p>Unit 9 What is important when choosing a job? [題材内容] 社会の変化を踏まえながら，今，仕事を選ぶ際に重要なことについて理解する。さらに，ある仕事を選ぶ理由や，その仕事への適性についても考える。</p>	<p>[知] 過去の習慣を表す表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[思] 情報や自分の考え，評価を即興で話し，詳細を伝え合っている。</p> <p>[主] 情報や自分の考え，評価を即興で話し，詳細を伝え合おうとしている。</p>	○	○	○	12
	<p>[言語材料] 未来進行形／未来完了形を理解している。</p> <p>[言語活動] ディスカッションを通して考えを深め，効果的にプレゼンテーションする。</p> <p>[言語の働き] 助言を求める，与える</p>	<p>Unit 10 How can we improve our school? [題材内容] 制服，カリキュラムなどの面から，学校を改善するための提案とそれに対する反論を理解する。最後に，自分たちの学校をよりよくするための提案を考える。</p>	<p>[知] 未来進行形，未来完了形を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[思] 自分の考えを理由とともに，即興で話しして詳細を伝え合っている。</p> <p>[主] 自分の考えを理由とともに，即興で話しして詳細を伝え合おうとしている。</p>	○	○	○	12
						合計	120

翔陽 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 英語 科目 論理・表現Ⅱ

教科：英語 科目：論理・表現Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

使用教科書：（be smart English Logic and ExpressionⅡ）

教科 英語 の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<ul style="list-style-type: none"> 接続詞を正しく用いて表現することができる。 日本の食べ物について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢が見られる。 	Lesson 16 Japanese food <ul style="list-style-type: none"> 接続詞の働きを理解する。 外国人に日本の食べ物をおすすめするリーフレットを書く。 友達と外国人に日本の食べ物をおすすめするリーフレットを英語で共有し、質問や議論を通して理解をより深める。 	<知>接続詞の働きを理解することができる。 <思>外国人に日本の食べ物をおすすめするリーフレットを書くことができる。 <主>友達と外国人に日本の食べ物をおすすめするリーフレットを英語で共有し、質問や議論を通して理解をより深めることができる。	○	○	○	4
<ul style="list-style-type: none"> 否定の表現を正しく用いて表現することができる。 ごみ削減について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢が見られる。 	Lesson 17 Go Green <ul style="list-style-type: none"> 否定の働きを理解する。 ごみ削減に関する施策を打ち出す学級新聞を英語で書く。 友達とごみ削減に関する施策を打ち出す学級新聞を共有し、質問や議論を通して理解をより深める。 	<知>否定の働きを理解することができる。 <思>ごみ削減に関する施策を打ち出す学級新聞を英語で書くことができる。 <主>友達とごみ削減に関する施策を打ち出す学級新聞を共有し、質問や議論を通して理解をより深めることができる。	○	○	○	4
<ul style="list-style-type: none"> 時制を正しく用いて表現することができる。 将来の夢について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢が見られる。 	Lesson 1 Future Plans <ul style="list-style-type: none"> 将来の夢に関する文章を読んだり聞いたりして理解する。 将来の夢について話したり、文章を書いたりする。 動詞の時制について学んで理解する。 時や状況に応じて動詞の時制を正しく使う。 	<知>時制の意味や働きについて理解している。時制を用いて、最近のことについて、話す技能を身につけている。 <思>最近のことについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。 <主>10年後の自分についての考えを、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	4
定期考査			○	○	○	1
<ul style="list-style-type: none"> 名詞句や名詞節を正しく用いて表現することができる。 家で時間の過ごし方について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。 	Lesson 2 Free Time at Home <ul style="list-style-type: none"> 家で過ごす時間について、文章を読んだり聞いたりして理解する。 家で過ごす時間について話したり、文章を書いたりする。 不定詞(名詞用法)・動名詞・名詞節について学んで理解する。 伝えたいことに応じて、不定詞・動名詞・名詞節を正しく使う。 	<知>不定詞の意味や働きについて理解している。不定詞を用いて、家での時間の過ごし方や楽しい予定について、伝え合う技能を身につけている。 <思>自分の趣味についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。 <主>家での時間の過ごし方についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	4
<ul style="list-style-type: none"> 助動詞を正しく用いて表現することができる。 学校生活について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。 	Lesson 3 Student Life <ul style="list-style-type: none"> 学校生活に関する文章を読んだり聞いたりして理解する。 学校生活について話したり、文章を書いたりする。 助動詞について学んで理解する。 伝えたい意味に応じて、助動詞を正しく使う。 	<知>助動詞の意味や働きについて理解している。助動詞を用いて、周辺の噂や今週の宿題について、伝え合う技能を身につけている。 <思>自信があることについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。 <主>後悔していることについての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	4
<ul style="list-style-type: none"> 形容詞や分詞を正しく用いて表現することができる。 体験から学んだことについて話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。 	Lesson 4 What You've Learned through Experience <ul style="list-style-type: none"> 体験から学んだことについて、文章を読んだり聞いたりして理解する。 体験から学んだことについて話したり、文章を書いたりする。 形容詞のはたらきや、分詞の形容詞用法について学んで理解する。 伝えたい意味に応じて、適切な形容詞を用いて文を作る。 	<知>形容詞や分詞の意味や働きについて理解している。形容詞や分詞を用いて、旅行の体験について、伝え合う技能を身につけている。 <思>旅行を通して学んだことについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。 <主>印象に残った行事についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	4
定期考査			○	○	○	1

1
学
期

2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 形容詞句を正しく用いて表現することができる。 現代社会の利便性について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。 	Lesson 5 Modern Conveniences <ul style="list-style-type: none"> 現代社会の利便性に関する文章を読んだり聞いたりして理解する。 現代社会の利便性について話したり、文章を書いたりする。 さまざまな表現を使った形容詞句について学んで理解する。 伝えたい意味に応じて、適切な形容詞句を用いて文を作る。 	<p><知>形容詞句の意味や働きについて理解している。形容詞句を用いて、スマートフォンの修理や動画の描写について、伝え合う技能を身につけている。</p> <p><思>スマートデバイスについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。</p> <p><主>便利なデバイスについての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。</p>	○	○	○	4	
	<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞や関係副詞を正しく用いて表現することができる。 情報社会について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。 	Lesson 6 The Information Society <ul style="list-style-type: none"> 情報社会に関する文章を読んだり聞いたりして理解する。 情報社会について話したり、文章を書いたりする。 関係代名詞・関係副詞について学んで理解する。 関係代名詞・関係副詞を用いて文を作る。 	<p><知>関係代名詞の意味や働きについて理解している。関係代名詞を用いて、好きなアーティストや興味のある話題について、伝え合う技能を身につけている。</p> <p><思>フェイクニュースについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。</p> <p><主>印象深いニュースについての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。</p>	○	○	○	4	
	<ul style="list-style-type: none"> 副詞を正しく用いて表現することができる。 ことばと思考について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。 	Lesson 7 Language and Thought <ul style="list-style-type: none"> ことばと思考についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 ことばと思考について話したり、文章を書いたりする。 副詞のはたらきについて学んで理解する。 伝えたい意味に応じて、適切な副詞を用いて文を作る。 	<p><知>副詞の意味や働きについて理解している。副詞を用いて、日本語と英語の表現の違いについて、伝え合う技能を身につけている。</p> <p><思>英語を学ぶ利点についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。</p> <p><主>英語の公用語化についての考えを、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。</p>	○	○	○	4	
	定期考査			○	○	○	1	
	<ul style="list-style-type: none"> 副詞句を正しく用いて表現することができる。 感情と心のはたらきについて話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。 	Lesson 8 Emotions and the Workings of the Mind <ul style="list-style-type: none"> 感情と心のはたらきについての文章を読んだり聞いたりして理解する。 感情と心のはたらきについて話したり、文章を書いたりする。 不定詞(副詞用法)・分詞について学んで理解する。 伝えたい意味に応じて不定詞・分詞を正しく使う。 	<p><知>副詞句の意味や働きについて理解している。副詞句を用いて、幸せのために何が必要かについて、伝え合う技能を身につけている。</p> <p><思>幸せを感じるときについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。</p> <p><主>周りの人の幸せについての経験を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。</p>	○	○	○	4	
	<ul style="list-style-type: none"> 副詞節を正しく用いて表現することができる。 リーダーシップの意味について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。 	Lesson 9 What Exactly Does Leadership Mean? <ul style="list-style-type: none"> リーダーシップについての文章を読んだり聞いたりして理解する。 リーダーシップについて話したり、文章を書いたりする。 さまざまな意味を表す副詞節について学んで理解する。 伝えたい意味に応じて適切な副詞節を用いて文を作る。 	<p><知>副詞節の意味や働きについて理解している。副詞節を用いて、リーダーに関する意見について、伝え合う技能を身につけている。</p> <p><思>与えられた設定についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。</p> <p><主>リーダーの資質についての考えを、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。</p>	○	○	○	4	
	<ul style="list-style-type: none"> 比較表現を正しく用いて表現することができる。 日本を紹介することについて話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。 	Lesson 10 Introducing Japan <ul style="list-style-type: none"> 日本を紹介する文章を読んだり聞いたりして理解する。 日本について話したり、文章を書いたりする。 原級・比較級・最上級を使う比較について学んで理解する。 原級・比較級・最上級を用いて文を作る。 	<p><知>比較表現の意味や働きについて理解している。比較表現を用いて、和食や日本の観光地について、伝え合う技能を身につけている。</p> <p><思>2つの目的地のどちらがいかかについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。</p> <p><主>外国人旅行者におすすめの活動についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。</p>	○	○	○	4	
	定期考査			○	○	○	1	
	3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 仮定法を正しく用いて表現することができる。 イノベーションについて話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。 	Lesson 11 Making Innovation Happen <ul style="list-style-type: none"> イノベーションについての文章を読んだり聞いたりして理解する。 イノベーションについて話したり、文章を書いたりする。 仮定法について学んで理解する。 仮定法の表現を用いて文を作る。 	<p><知>仮定法の意味や働きについて理解している。仮定法を用いて、「もし校長なら」についての考えを、伝え合う技能を身につけている。</p> <p><思>日本にあったらいいと思うものについて、論理的に詳しく話すことができる。</p> <p><主>世界に役立つ革新技術についての考えを、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。</p>	○	○	○	4
		<ul style="list-style-type: none"> that節や語法などを正しく用いて表現することができる。 多様性を受け入れる社会について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。 	Lesson 12 Embracing Diversity in Society <ul style="list-style-type: none"> 社会の多様性についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 社会の多様性について話したり、文章を書いたりする。 要求や必要、認識を表す表現・時制の一致・語法について学んで理解する。 要求や必要、認識を表す表現・時制の一致・語法を用いて文を作る。 	<p><知>that節や語法などの意味や働きについて理解している。that節や語法などを用いて、差別に對してできることや共生社会をつくる方法について、伝え合う技能を身につけている。</p> <p><思>自由で公平な社会について、論理的に詳しく話すことができる。</p> <p><主>差別についての考えを、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。</p>	○	○	○	4
<ul style="list-style-type: none"> 存在や変化を表す表現を正しく用いて表現することができる。 観光と日本社会について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。 		Lesson 13 Tourism and Japanese Society <ul style="list-style-type: none"> 観光と日本社会についての文章を読んだり聞いたりして理解する。 観光と日本社会について話したり、文章を書いたりする。 存在や変化の表現について学んで理解する。 伝えたい意味に応じて、存在や変化、「～がかかる」という表現を正しく用いて文を作る。 	<p><知>存在や変化を表す表現の意味や働きについて理解している。存在や変化を表す表現を用いて、外国人旅行者向けのお知らせについて、伝え合う技能を身につけている。</p> <p><思>外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。</p> <p><主>日本の旅行を楽しむための情報について、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。</p>	○	○	○	4	
定期考査				○	○	○	1	

年間授業計画

翔陽 高等学校 令和5年度 教科 外国語 科目 検定英語

教科：外国語 科目：検定英語 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 7日間完成 英検2級予想問題ドリル・英語総合問題集 UNITE STAGE2.5 ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 検定英語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けることができる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、話題に関する自身の考えを適切に表現したりすることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	英文を正確に読んだり、聞いたりするとともに、習った表現を用いて自身の考えを伝える。	【題材】筆記試験、英作文 Unit 1【題材】会話【文法】文型 Unit 2【題材】歴史 【文法】時制(1) Unit 3【題材】生物 【文法】時制(2)	<知>語彙、文法、会話表現を理解している。 <思>正確に読んだり、聞いたりしたり、考えを具体的に表現したりしている。 <主>積極的に相手と話そうとしたり、英文を書いたりしている。	○	○	○	10
	定期考査						
	英文を正確に読んだり、聞いたりするとともに、習った表現を用いて自身の考えを伝える。	【題材】筆記試験、英作文 Unit 4【題材】科学 【文法】助動詞 Unit 5【題材】グラフ 【文法】受動態	<知>語彙、文法、会話表現を理解している。 <思>正確に読んだり聞いたりしたり、意見を具体的に表現したりしている。 <主>積極的に相手と話そうとしたり、英文を書いたりしている。	○	○	○	10
	定期考査						

2 学 期	英文を正確に読んだり、聞いたりするとともに、習った表現を用いて自身の考えを伝える。	【題材】筆記試験、英作文 Unit 6【題材】情報科学 【文法】不定詞・動名詞(1) Unit 7【題材】水産・海洋 【文法】不定詞・動名詞(2)	<知>語彙、文法、会話表現を理解している。 <思>正確に読んだり聞いたりしたり、意見を具体的に表現したりしている。 <主>積極的に相手と話そうとしたり、英文を書いたりしている。	○	○	○	6
	定期考査						
	英文を正確に読んだり、聞いたりするとともに、習った表現を用いて自身の考えを伝える。	【題材】筆記試験、英作文 Unit 8【題材】広告文 【文法】分詞・分詞構文 Unit 9【題材】食物 【文法】ニンニクの効用	<知>語彙、文法、会話表現を理解している。 <思>正確に読んだり聞いたりしたり、意見を具体的に表現したりしている。 <主>積極的に相手と話そうとしたり、英文を書いたりしている。	○	○	○	8
定期考査							
3 学 期	英文を正確に読んだり、聞いたりするとともに、習った表現を用いて自身の考えを伝える。	【題材】筆記試験、英作文 Unit 10【題材】グラフ 【文法】比較 Unit 11【題材】比較文化 【文法】関係詞(1) Unit 12【題材】食物 【文法】関係詞(2) Unit 13【題材】ウェブサイト 【文法】仮定法	<知>語彙、文法、会話表現を理解している。 <思>正確に読んだり聞いたりしたり、意見を具体的に表現したりしている。 <主>積極的に相手と話そうとしたり、英文を書いたりしている。	○	○	○	12
	定期考査						

東京都立翔陽高等学校令和5年度 英語 コミュニケーション英語Ⅲ 年間授業計画

教科：英語 科目：コミュニケーション英語Ⅲ 単位数：3単位

対象学年組：第3学年1組～5組

使用教科書：(Grove English CommunicationⅢ (文英堂))

使用教材：(Grove English CommunicationⅢ WORK BOOK (文英堂) / Listening Box 共通テスト対策リスニング (啓林館) / TACTICS10 共通テストリーディング(東京書籍) / 英文で覚える英単語ターゲットR(旺文社)

	指導内容	英語表現Ⅰの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	Lesson 1	Plastic Food Samples 食品サンプルの歴史・文化に関し、概要をとらえながら英文を読み、ポイントを理解する。 日本の文化がどのように海外に評価されているかを知る。	ディクテーション、速読による内容把握、音読活動等、グループワークへの参加態度など、発問応答の状況	2
	Lesson 2	Cheese Rolling イギリスの伝統行事が行われる様子に関し、概要をとらえながら英文を読み、ポイントを理解する。 海外には地域独特の文化が根付いていることを知る。	ディクテーション、速読による内容把握、音読活動等、グループワークへの参加態度など、発問応答の状況	2
	Lesson 3	Chocolate Shortage 世界中でカカオが不足している現状やその理由に関し、概要をとらえながら英文を読み、ポイントを理解する。 身近なものにも深い事情があることを知る。	ディクテーション、速読による内容把握、音読活動等、グループワークへの参加態度など、発問応答の状況	2
	語彙力向上	「英文で覚える英単語ターゲットR」をベースとした小テストを定期的(原則、3回に1回:毎週月曜日)に実施し、得点推移を観察、個別指導に繋げる。	小テスト得点率	
	リスニング力向上	Listening Box 共通テスト対策リスニングを使ったドリルを授業内帯活動として定期的(3回に1回)に実施し、共通テスト、英検等への対応力を向上させる。	ドリルの正答状況	
	初見文章速読・スキミング力向上	教科書本文パッセージを原則予習禁止とし、ワークシート等を併用して授業内での初見文章の速読およびスキミング力の強化を図る。また、TACTICS10を使ったドリルを授業内帯活動として定期的(3回に1回)に実施し、共通テスト、英検等への対応力を向上させる。	授業内アクティビティへの参加態度、発問応答の状況、ドリルの正答状況	

	指導内容	英語表現 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	Lesson 4	Bamboo Trains カンボジアの人々に利用されている交通機関に関し、概要をとらえながら英文を読み、ポイントを理解する。 カンボジアの歴史の一端、人々の生活について知る。	ディクテーション、速読による内容把握、音読活動等、グループワークへの参加態度など、発問応答の状況	2
	Lesson 5	The Animal Rounge ドイツの空港にある特殊な施設とその運営状況に関し、概要をとらえながら英文を読み、ポイントを理解する。 飛行機で輸送される動物がどのように管理されているかを知る。	ディクテーション、速読による内容把握、音読活動等、グループワークへの参加態度など、発問応答の状況	2
	語彙力向上	「英文で覚える英単語ターゲットR」をベースとした小テストを定期的(原則、3回に1回:毎週月曜日)に実施し、得点推移を観察、個別指導に繋げる。	小テスト得点率	
	リスニング力向上	Listening Box 共通テスト対策リスニングを使ったドリルを授業内帯活動として定期的(3回に1回)に実施し、共通テスト、英検等への対応力を向上させる。	ドリルの正答状況	
	初見文章速読・スキミング力向上	教科書本文パッセージを原則予習禁止とし、ワークシート等を併用して授業内での初見文章の速読およびスキミング力の強化を図る。また、TACTICS10を使ったドリルを授業内帯活動として定期的(3回に1回)に実施し、共通テスト、英検等への対応力を向上させる。	授業内アクティビティへの参加態度、発問応答の状況、ドリルの正答状況	
	1学期中間考査		考査得点率 正答・誤答傾向分析	1

	指導内容	英語表現 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	Lesson 6	Brinicles – Deadly IceFingers by Doug Anderson 南極海の海中で起こる不思議な自然現象を捉えたカメラマンの描写に関し、概要をとらえながら英文を読み、ポイントを理解する。 特にこの自然現象が発生する条件、時系列的流れを知る。	ディクテーション、速読による 内容把握、音読活動等、グルー プワークへの参加態度など、発 問応答の状況	2
	Lesson 7	The Hemline Index アメリカの経済学者が提唱した、景気と女性のスカート丈の相関関係に関し、概要を とらえながら英文を読み、ポイントを理解する。 近代史におけるアメリカ経済動向について知る。	ディクテーション、速読による 内容把握、音読活動等、グルー プワークへの参加態度など、発 問応答の状況	2
	Lesson 8	Holiday Weight Gain 休暇中に体重が増加するという、各国共通の人間の行動に関し、概要をとらえ ながら英文を読み、ポイントを理解する。 実際のリサーチによる数値を理解しながら読む。	ディクテーション、速読による 内容把握、音読活動等、グルー プワークへの参加態度など、発 問応答の状況	2
	Lesson 9	Socotra – The Galapagos of the Indian Ocean インド洋のガラパゴスと呼ばれるソコトラ島の自然に関し、概要をとらえなが ら英文を読み、ポイントを理解する。 現地の固有種の木についての理解を深める。	ディクテーション、速読による 内容把握、音読活動等、グルー プワークへの参加態度など、発 問応答の状況	2
	語彙力向上	「英文で覚える英単語ターゲットR」をベースとした小テストを定期的(原則、3回に1回: 毎週月曜日)に実施し、得点推移を観察、個別指導に繋げる。	小テスト得点率	
	リスニング力向上	Listening Box 共通テスト対策リスニングを使ったドリルを授業内帯活動として定期的 (3回に1回)に実施し、共通テスト、英検等への対応力を向上させる。	ドリルの正答状況	
	初見文章速読・スキミング力向上	教科書本文パッセージを原則予習禁止とし、ワークシート等を併用して授業内での初 見文章の速読およびスキミング力の強化を図る。また、TACTICS10を使ったドリルを 授業内帯活動として定期的(3回に1回)に実施し、共通テスト、英検等への対応力を 向上させる。	授業内アクティビティへの参加 態度、発問応答の状況、ドリル の正答状況	

指導内容	英語表現 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
Lesson 10	NEWater : Singapore's Recycled Water シンガポールの最先端技術による水処理・リサイクルシステムに関し、概要をとらえながら英文を読み、ポイントを理解する。 修学旅行で見学した光景を思い出しながら読む。	ディクテーション、速読による内容把握、音読活動等、グループワークへの参加態度など、発問応答の状況	2
Lesson 11	Bed Nets for African Children アフリカでマラリア予防のため使われている蚊帳に関し、概要をとらえながら英文を読み、ポイントを理解する。 社会課題解決の一つのアイデアを知り、各自が社会課題に対する意識を高めるきっかけとする。	ディクテーション、速読による内容把握、音読活動等、グループワークへの参加態度など、発問応答の状況	2
語彙力向上	「速読英単語必修編」をベースとした小テストを定期的(原則、3回に1回:毎週金曜日)に実施し、得点推移を観察、個別指導に繋げる。	小テスト得点率	
リスニング力向上	Listening Box 共通テスト対策リスニングを使ったドリルを授業内帯活動として定期的(3回に1回)に実施し、共通テスト、英検等への対応力を向上させる。	ドリルの正答状況	
初見文章速読・スキミング力向上	教科書本文パッセージを原則予習禁止とし、ワークシート等を併用して授業内での初見文章の速読およびスキミング力の強化を図る。また、TACTICS10を使ったドリルを授業内帯活動として定期的(3回に1回)に実施し、共通テスト、英検等への対応力を向上させる。	授業内アクティビティへの参加態度、発問応答の状況、ドリルの正答状況	
1学期期末考査		考査得点率 正答・誤答傾向分析	1

7
月

	指導内容	英語表現 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月	Lesson 12	A Feathery Find in Amber 恐竜など生物の一部を含んだ状態で発見された琥珀から予測される恐竜の生態に関し、概要を捉えながら英文を読み、ポイントを理解する。 古代生物の研究の一端について理解を深める。	ディクテーション、速読による内容把握、音読活動等、グループワークへの参加態度など、発問応答の状況	2
	語彙力向上	「英文で覚える英単語ターゲットR」をベースとした小テストを定期的(原則、3回に1回:毎週月曜日)に実施し、得点推移を観察、個別指導に繋げる。	小テスト得点率	
	リスニング力向上	Listening Box 共通テスト対策リスニングを使ったドリルを授業内帯活動として定期的(3回に1回)に実施し、共通テスト、英検等への対応力を向上させる。	ドリルの正答状況	
	初見文章速読・スキミング力向上	教科書本文パッセージを原則予習禁止とし、ワークシート等を併用して授業内での初見文章の速読およびスキミング力の強化を図る。また、TACTICS10を使ったドリルを授業内帯活動として定期的(3回に1回)に実施し、共通テスト、英検等への対応力を向上させる。	授業内アクティビティへの参加態度、発問応答の状況、ドリルの正答状況	

	指導内容	英語表現 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	Lesson 13	Snow Monkeys 温泉に入るサルが有名な観光地の歴史や現況に関し、概要を捉えながら英文を読み、ポイントを理解する。 観光資源の活用の一案を知る。	ディクテーション、速読による内容把握、音読活動等、グループワークへの参加態度など、発問応答の状況	3
	Lesson 14	Spot Fake News SNS等で拡散されるフェイクニュースの実態に関し、概要を捉えながら本文を読み、ポイントを理解する。 ネットの活用、情報の取捨選択についての理解を深める。	ディクテーション、速読による内容把握、音読活動等、グループワークへの参加態度など、発問応答の状況	3
	Lesson 15	EcoScraps : A Million-dollar Business Built on Trash 生ごみなど廃棄物をリサイクルし肥料を作るプロジェクトに関し、概要を捉えながら本文を読み、ポイントを理解する。 3Rなどサステイナブルな社会についての考察を深める。	ディクテーション、速読による内容把握、音読活動等、グループワークへの参加態度など、発問応答の状況	3
	語彙力向上	「英文で覚える英単語ターゲットR」をベースとした小テストを定期的(原則、3回に1回:毎週月曜日)に実施し、得点推移を観察、個別指導に繋げる。	小テスト得点率	
	リスニング力向上	Listening Box 共通テスト対策リスニングを使ったドリルを授業内帯活動として定期的(3回に1回)に実施し、共通テスト、英検等への対応力を向上させる。	ドリルの正答状況	
	初見文章速読・スキミング力向上	教科書本文パッセージを原則予習禁止とし、ワークシート等を併用して授業内での初見文章の速読およびスキミング力の強化を図る。また、TACTICS10を使ったドリルを授業内帯活動として定期的(3回に1回)に実施し、共通テスト、英検等への対応力を向上させる。	授業内アクティビティへの参加態度、発問応答の状況、ドリルの正答状況	

	指導内容	英語表現 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 0 月	Lesson 16	Earth Hour 地球規模で開催される、エコロジーをテーマにしたイベントに関し、概要を捉えながら本文を読み、ポイントを理解する。 イベントに参加する意義について考察する。	ディクテーション、速読による内容把握、音読活動等、グループワークへの参加態度など、発問応答の状況	3
	Lesson 17	The French School Lunch 学校のカフェテリアで出される料理やその意義に関し、概要を捉えながら本文を読み、ポイントを理解する。 海外の食文化、食育に関する理解を深める。	ディクテーション、速読による内容把握、音読活動等、グループワークへの参加態度など、発問応答の状況	3
	Lesson 18	Sleep Position And Personality 寝るときの6つの姿勢と性格の傾向に関し、概要を捉えながら本文を読み、ポイントを理解する。 睡眠の科学、健康との関わりに理解を深める。	ディクテーション、速読による内容把握、音読活動等、グループワークへの参加態度など、発問応答の状況	3
	語彙力向上	「英文で覚える英単語ターゲットR」をベースとした小テストを定期的(原則、3回に1回:毎週月曜日)に実施し、得点推移を観察、個別指導に繋げる。	小テスト得点率	
	リスニング力向上	Listening Box 共通テスト対策リスニングを使ったドリルを授業内帯活動として定期的(3回に1回)に実施し、共通テスト、英検等への対応力を向上させる。	ドリルの正答状況	
	初見文章速読・スキミング力向上	教科書本文パッセージを原則予習禁止とし、ワークシート等を併用して授業内での初見文章の速読およびスキミング力の強化を図る。また、TACTICS10を使ったドリルを授業内帯活動として定期的(3回に1回)に実施し、共通テスト、英検等への対応力を向上させる。	授業内アクティビティへの参加態度、発問応答の状況、ドリルの正答状況	
	2学期中間考査		考査得点率 正答・誤答傾向分析	1

	指導内容	英語表現 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 1 月	Lesson 19	Lost Olympic Sports オリンピックの歴史の中で消えていった種目に関し、概要を捉えながら本文を読み、ポイントを理解する。 20年東京大会の情報含め、リトビックに関する知見を深める。	ディクテーション、速読による内容把握、音読活動等、グループワークへの参加態度など、発問応答の状況	3
	Lesson 20	New Energy : Algae to oil 藻を利用した新たなエネルギー源の開発と意義に関し、概要を捉えながら本文を読み、ポイントを理解する。 最新科学とその活用につき知見を深める。	ディクテーション、速読による内容把握、音読活動等、グループワークへの参加態度など、発問応答の状況	3
	Lesson 21	Grandmothers as Solar Engineers インドで高齢女性に家庭用太陽光発電の装置を設置・メンテできるよう教育するプロジェクトに携わる男性のストーリーを、概要を捉えながら本文を読み、ポイントを理解する。発展途上国でのサステナビリティや高齢者就労の状況につき知見を深める。	ディクテーション、速読による内容把握、音読活動等、グループワークへの参加態度など、発問応答の状況	3
	Lesson 22	The Sagrada Familia: a Spiritual Wonder スペインのサグラダ・ファミリアの建設状況や設計者ガウディの考えなど、概要を捉えながら本文を読み、ポイントを理解する。 関連する最新技術や携わる人々の思いなどにつき知見を深める。	ディクテーション、速読による内容把握、音読活動等、グループワークへの参加態度など、発問応答の状況	3
	語彙力向上	「英文で覚える英単語ターゲットR」をベースとした小テストを定期的(原則、3回に1回:毎週月曜日)に実施し、得点推移を観察、個別指導に繋げる。	小テスト得点率	
	リスニング力向上	Listening Box 共通テスト対策リスニングを使ったドリルを授業内帯活動として定期的(3回に1回)に実施し、共通テスト、英検等への対応力を向上させる。	ドリルの正答状況	
	初見文章速読・スキミング力向上	教科書本文パッセージを原則予習禁止とし、ワークシート等を併用して授業内での初見文章の速読およびスキミング力の強化を図る。また、TACTICS10を使ったドリルを授業内帯活動として定期的(3回に1回)に実施し、共通テスト、英検等への対応力を向上させる。	授業内アクティビティへの参加態度、発問応答の状況、ドリルの正答状況	

	指導内容	英語表現 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 2 月	Lesson 23	Robot Farming 最新技術を用いた農業の展開につき、概要を捉えながら本文を読み、ポイントを理解する。 農業が直面する課題や将来の見通しなどにつき知見を深める。	ディクテーション、速読による内容把握、音読活動等、グループワークへの参加態度など、発問応答の状況	3
	語彙力向上	「英文で覚える英単語ターゲットR」をベースとした小テストを定期的(原則、3回に1回:毎週月曜日)に実施し、得点推移を観察、個別指導に繋げる。	小テスト得点率	
	リスニング力向上	Listening Box 共通テスト対策リスニングを使ったドリルを授業内帯活動として定期的(3回に1回)に実施し、共通テスト、英検等への対応力を向上させる。	ドリルの正答状況	
	初見文章速読・スキミング力向上	教科書本文パッケージを原則予習禁止とし、ワークシート等を併用して授業内での初見文章の速読およびスキミング力の強化を図る。また、TACTICS10を使ったドリルを授業内帯活動として定期的(3回に1回)に実施し、共通テスト、英検等への対応力を向上させる。	授業内アクティビティへの参加態度、発問応答の状況、ドリルの正答状況	
	2学期期末考査		考査得点率 正答・誤答傾向分析 年間結果分析	1

	指導内容	英語表現 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	共通テスト対応力向上	40分単位で共通テスト試の演習ができる問題集に期間集中で取り組み、入試直前対策とする。	問題への取り組み姿勢、正答状況	3

	指導内容	英語表現 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月				
3 月				

年間授業計画様式例

東京都立翔陽高等学校 令和5年度 英語科 英語表現Ⅱ 年間授業計画

教科：英語 科目：英語表現Ⅱ 単位数：3単位

対象学年組：第3学年(1組～6組)

使用教科書：(EMPOWERⅡ MASTERY COURSE)

使用教材：『The Reflex643』桐原書店/『総合英語be English Grammar』いっずな書店/Empower Mastery Course Workbook桐原書店/『Engage Master Book New Edition』いっずな書店/『Engage』いっずな書店

	指導内容	英語表現Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	Lesson 15 不定詞、分詞構文などを含む副詞句・節についての理解を深め、適切に使用することができる。また、副詞節を含む文を読み取ることができる。思い入れのある言葉について伝えることができる。	文法事項の確認後、ライティング・リスニング・スピーキングなどのアプローチで定着させる。ALTとのチームティーチングを活用して、生徒のアウトプットの機会をできる限り確保し、表現する力を伸ばす。 □	文法・語彙・語法の知識確認の小テスト	3
	Lesson 16 時・条件・理由などを表す副詞節についての理解を深め、適切に使用することができる。副詞節を含む文を読み取ることができる。また、自分の意見を論理だてて説明することができる。	文法事項の確認後、ライティング・リスニング・スピーキングなどのアプローチで定着させる。ALTとのチームティーチングを活用して、生徒のアウトプットの機会をできる限り確保し、表現する力を伸ばす。 □	文法・語彙・語法の知識確認の小テスト	3

	指導内容	英語表現Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数

	指導内容	英語表現Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	Lesson 17 否定や部分否定を含む文をよく理解し、適切に使用することができる。また、区別して読み取ることができる。	文法事項の確認後、ライティング・リスニング・スピーキングなどのアプローチで定着させる。ALTとのチームティーチングを活用して、生徒のアウトプットの機会をできる限り確保し、表現する力を伸ばす。	文法・語彙・語法の知識確認の小テスト	3
	Lesson 18 比較（原級・比較級・最上級）について理解し、適切に使用することができる。また、区別しながら読み取ることができる。身の回りのものについて、比べて説明することができる。	文法事項の確認後、ライティング・リスニング・スピーキングなどのアプローチで定着させる。ALTとのチームティーチングを活用して、生徒のアウトプットの機会をできる限り確保し、表現する力を伸ばす。	文法・語彙・語法の知識確認の小テスト	3
	1学期中間考査	1学期中間考査実施	考査点	1
	スピーキングテスト	英検2級・準2級を想定した問題をALTと実施し、動機付けを行う。	評価点	1

	指導内容	英語表現Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	Lesson 19 基本的な比較のパターンを応用したよく使用される慣用表現について理解し、適切に使用できる。	文法事項の確認後、ライティング・リスニング・スピーキングなどのアプローチで定着させる。ALTとのチームティーチングを活用して、生徒のアウトプットの機会をできる限り確保し、表現する力を伸ばす。	文法・語彙・語法の知識確認の小テスト	3
	Lesson 20 仮定法の基本的な用法と慣用表現を理解し、適切に使用することができる。	文法事項の確認後、ライティング・リスニング・スピーキングなどのアプローチで定着させる。ALTとのチームティーチングを活用して、生徒のアウトプットの機会をできる限り確保し、表現する力を伸ばす。	文法・語彙・語法の知識確認の小テスト	3
	Review Exercise	Lesson15から20までの範囲を網羅した問題を解き、復習と定着を図る。	文法・語彙・語法の知識確認の小テスト	3
	スピーキングテスト	英検2級・準2級を想定した問題をALTと実施し、動機付けを行う。	評価点	1
7 月	The Reflex 643 Unit1	実践問題演習及び私大過去問題に取り組み、入試対策をする。	文法・語彙・語法の知識確認の小テスト	2
	The Reflex 643 Unit2	実践問題演習及び私大過去問題に取り組み、入試対策をする。	文法・語彙・語法の知識確認の小テスト	2
	1学期期末考査	1学期期末考査実施	考査点	1

	指導内容	英語表現Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

	指導内容	英語表現Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月	課題テスト	文法定着を観察、個別指導に繋げる。	課題テスト	1
	The Reflex 643 Unit3	実践問題演習及び私大過去問題に取り組み、入試対策をする。	文法・語彙・語法の知識確認 の小テスト	2

	指導内容	英語表現Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	The Reflex 643 Unit4	実践問題演習及び私大過去問題に取り組み、入試対策をする。	文法・語彙・語法の知識確認 の小テスト	3
	The Reflex 643 Unit5	実践問題演習及び私大過去問題に取り組み、入試対策をする。	文法・語彙・語法の知識確認 の小テスト	3
	The Reflex 643 Unit6	実践問題演習及び私大過去問題に取り組み、入試対策をする。	文法・語彙・語法の知識確認 の小テスト	3
	スピーキングテスト	英検2級・準2級を想定した問題をALTと実施し、動機付けを行う。	評価点	1

	指導内容	英語表現Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	The Reflex 643 Unit7	実践問題演習及び私大過去問題に取り組み、入試対策をする。	文法・語彙・語法の知識確認 の小テスト	3
	The Reflex 643 Unit8	実践問題演習及び私大過去問題に取り組み、入試対策をする。	文法・語彙・語法の知識確認 の小テスト	3
	2学期中間考査	2学期中間考査実施	考査点	1
	The Reflex 643 Unit9	実践問題演習及び私大過去問題に取り組み、入試対策をする。	文法・語彙・語法の知識確認 の小テスト	3

	指導内容	英語表現Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	The Reflex 643 Unit10	実践問題演習及び私大過去問題に取り組み、入試対策をする。	文法・語彙・語法の知識確認 の小テスト	3
	The Reflex 643 Unit11	実践問題演習及び私大過去問題に取り組み、入試対策をする。	文法・語彙・語法の知識確認 の小テスト	3
	The Reflex 643 Unit12	実践問題演習及び私大過去問題に取り組み、入試対策をする。	文法・語彙・語法の知識確認 の小テスト	3
	スピーキングテスト	英検2級・準2級を想定した問題をALTと実施し、動機付けを行う。	評価点	1

	指導内容	英語表現Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	The Reflex 643 Unit13	実践問題演習及び私大過去問題に取り組み、入試対策をする。	文法・語彙・語法の知識確認 の小テスト	3
	The Reflex 643 Unit14	実践問題演習及び私大過去問題に取り組み、入試対策をする。	文法・語彙・語法の知識確認 の小テスト	3
	後期中間考査	後期中間考査実施	考査点	1

	指導内容	英語表現Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	The Reflex 643 Unit15	実践問題演習及び私大過去問題に取り組み、入試対策をする。	文法・語彙・語法の知識確認 の小テスト	3
	The Reflex 643 Unit16	実践問題演習及び私大過去問題に取り組み、入試対策をする。	文法・語彙・語法の知識確認 の小テスト	3
	The Reflex 643 Unit17	実践問題演習及び私大過去問題に取り組み、入試対策をする。	文法・語彙・語法の知識確認 の小テスト	3

	指導内容	英語表現Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	The Reflex 643 Unit18	実践問題演習及び私大過去問題に取り組み、入試対策をする。	文法・語彙・語法の知識確認 の小テスト	3
	The Reflex 643 Unit19	実践問題演習及び私大過去問題に取り組み、入試対策をする。	文法・語彙・語法の知識確認 の小テスト	3
	The Reflex 643 Unit20	実践問題演習及び私大過去問題に取り組み、入試対策をする。	文法・語彙・語法の知識確認 の小テスト	3

	指導内容	英語表現Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				

年間授業計画様式例

翔陽高等学校 令和5年度 教科外国語 科目英語基礎演習 年間授業計画

教科：外国語 科目：英語基礎演習 単位数：2単位

対象学年組：第3学年1組～6組) 必修選択

使用教科書：(SKYWARD LAND)

使用教材：(SKYWARD予習・復習ノート)

指導内容	科目 英語基礎演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	
4 月	オリエンテーション Unit1 文化と歴史	語彙や構文のポイント、音読を通して、書き手の意図を正しく理解しながら英文を読み取る力をつける。	発問応答 活動観察 音読テスト	4

指導内容	科目 英語基礎演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5月 Unit2 エネルギー問題 Unit3 食文化 Unit4 ビジネス	語彙や構文のポイント、音読を通して、書き手の意図を正しく理解しながら英文を読み取る力をつける。	発問応答 活動観察 音読テスト	6

指導内容	科目 英語基礎演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月 Unit5 英語学習 Unit6 ジェンダー論 Unit7 環境 Unit8 言語	語彙や構文のポイント、音読を通して、書き手の意図を正しく理解しながら英文を読み取る力をつける。	発問応答 活動観察 音読テスト	8

	指導内容	科目 英語基礎演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	Unit9 人体・医学	語彙や構文のポイント、音読を通して、書き手の意図を正しく理解しながら英文を読み取る力をつける。	発問応答 活動観察 音読テスト	2

	指導内容	科目 英語基礎演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月	Unit10 都市問題	語彙や構文のポイント、音読を通して、書き手の意図を正しく理解しながら英文を読み取る力をつける。	発問応答 活動観察 音読テスト	2

指導内容	科目 英語基礎演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月 Unit11 地球の資源 Unit12 教育 Unit13 科学技術と社会	語彙や構文のポイント、音読を通して、書き手の意図を正しく理解しながら英文を読み取る力をつける。	発問応答 活動観察 音読テスト	6

指導内容	科目 英語基礎演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10月 Unit14 発明 Unit15 労働 Unit16 会話	語彙や構文のポイント、音読を通して、書き手の意図を正しく理解しながら英文を読み取る力をつける。	発問応答 活動観察 音読テスト	6

指導内容	科目 英語基礎演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11月 Unit17 統計 Unit18 エッセイ Unit19 労働問題 Unit20 産業	語彙や構文のポイント、音読を通して、書き手の意図を正しく理解しながら英文を読み取る力をつける。	発問応答 活動観察 音読テスト	8

指導内容	科目 英語基礎演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12月 復習1 復習2 復習3	語彙や構文のポイント、音読を通して、書き手の意図を正しく理解しながら英文を読み取る力をつける。	発問応答 活動観察 音読テスト	6

	指導内容	科目 英語基礎演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月				

2月	指導内容	科目 英語基礎演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

3月	指導内容	科目 英語基礎演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

年間授業計画様式例

東京都立翔陽高等学校 令和5年度 英語 英語標準演習 年間授業計画

教科：英語 科目：英語標準演習 単位数：2単位

対象学年組：第3学年 必修選択 E群・G群

使用教科書：(Clues to Reading 英文解釈の徹底演習 Standard (数研出版) SKYWARD OCEAN (桐原書店))

使用教材：(SKYWARD 予習・復習ノート、その他大学入試過去問)

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
Clues to Reading 英文の基本構造	1. 後置修飾 2. 文型	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状況	2
4月 SKYWARD OCEAN 1 旅行 2 環境	1. 東京の観光資源 2. 消えつつある北極の水	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状況 トピックに興味を持ち、理解を深める活動ができたか	2

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
Clues to Reading 英文の構造	3. 挿入 4. 同格 5. 並列	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況	3
SKYWARD OCEAN 3 心理学 4 衣食住 5 人体	3. 高所恐怖 4. 電気を使わない冷却装置 5. 私たちにはどのくらいの睡眠が必要か	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況 トピックに興味を持ち、理解 を深める活動ができたか	3
5 月 1 学期中間考査	文法、読解問題を中心に、習得のレベルを測る。初見問題にも取り組む。	考査得点率 正答・誤答問題傾向分析	1

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	Clues to Reading itの用法、関係詞	6. 形式主語、形式目的語it 7. 強調構文it 8. 前置詞と関係代名詞	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況	3
	SKYWARD OCEAN 6 宇宙 7 言語 8 商業	6. 月はどこから来たのか 7. 英語と米語の面白い違い 8. 顧客サービスの重要性	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況 トピックに興味を持ち、理解 を深める活動ができたか	3

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>Clues to Reading 関係詞</p> <p>SKYWARD OCEAN 9 生物学</p> <p>1 学期期末考査</p>	<p>9. 関係代名詞の複雑な構文 (I thinkの挿入など)</p> <p>9. 犬は人間の言葉を理解できるか</p> <p>文法、読解問題を中心に、習得のレベルを測る。初見問題にも取り組む。</p>	<p>演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況</p> <p>演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況 トピックに興味を持ち、理解 を深める活動ができたか</p> <p>考査得点率 正答・誤答問題傾向分析</p>	<p>1</p> <p>1</p> <p>1</p>

7
月

8月	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	Clues to Reading 分詞構文 比較	1 0. 基本的な分詞構文、独立分詞構文 1 1. 比較の複雑な構文（倒置など）	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況	3
	SKYWARD OCEAN 1 0 歴史 1 1 健康 1 2 工業	1 0. お茶の歴史 1 1. 健康的な食事 1 2. プラスチックの橋	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況 トピックに興味を持ち、理解 を深める活動ができたか	3

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
Clues to Reading 省略 倒置	1 2. 省略表現 1 3. 副詞句、否定に伴う倒置	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況	4
SKYWARD OCEAN 1 3 コミュニケーション 1 4 科学技術 1 5 日常生活	1 3. メールの作法 1 4. 小さな装置の偉大な利点 1 5. 固定観念の危険性	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況 トピックに興味を持ち、理解 を深める活動ができたか	4
10 月 2 学期中間考査	文法、読解問題を中心に、習得のレベルを測る。初見問題にも取り組む。	考査得点率 正答・誤答問題傾向分析	1

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	Clues to Reading 名詞構文 仮定法	1 4. 動詞、形容詞の名詞形の扱い 1 5. Ifのない仮定法	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況	4
	SKYWARD OCEAN 1 6 社会 1 7 医療 1 8 会話	1 6. 贈り物の作法 1 7. 患者と医者の変化 1 8. 幸運な偶然	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況 トピックに興味を持ち、理解 を深める活動ができたか	4

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	SKYWARD OCEAN 19 ノンフィクション 20 情報社会	19. 盗まれた「モナリザ」 20. 携帯電話とコミュニケーション能力	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況 トピックに興味を持ち、理解 を深める活動ができたか	2
	過去問演習	大学の過去問から選んだものを、演習問題として取り組む。	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況 トピックに興味を持ち、理解 を深める活動ができたか	2
	2学期期末考査	文法、読解問題を中心に、習得のレベルを測る。初見問題にも取り組む。	考査得点率 正答・誤答問題傾向分析	1

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月			

2月	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				

年間授業計画様式例

東京都立翔陽高等学校 令和5年度 英語 英語発展演習 年間授業計画

教科：英語 科目：英語発展演習 単位数：2単位

対象学年組：第3学年 必修選択 E群・F群

使用教科書：(Clues to Reading 英文解釈の徹底演習 Standard (数研出版) SKYWARD CLOUD (桐原書店))

使用教材：(SKYWARD 予習・復習ノート、その他大学入試過去問)

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	Clues to Reading 英文の基本構造	1. 後置修飾 2. 文型	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況	2
	SKYWARD CLOUD 1 資料の読み取り 2 大衆文化	1. 統計に関する表現 2. 品詞の識別	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況 トピックに興味を持ち、理解 を深める活動ができたか	2

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
Clues to Reading 英文の構造	3. 挿入 4. 同格 5. 並列	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況	3
SKYWARD CLOUD 3 インタビュー 4 コミュニケーション 5 自然環境	3. キーワードとトピック・センテンス 4. 仮定の含みを持つwould 5. 指示語に着目する（1）	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況 トピックに興味を持ち、理解 を深める活動ができたか	3
5 月 1 学期中間考査	文法、読解問題を中心に、習得のレベルを測る。初見問題にも取り組む。	考査得点率 正答・誤答問題傾向分析	1

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	Clues to Reading itの用法、関係詞	6. 形式主語、形式目的語it 7. 強調構文it 8. 前置詞と関係代名詞	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況	3
	SKYWARD CLOUD 6 社会生活 7 エネルギー 8 娯楽	6. Itを含む構文 7. エネルギー問題に関する語句 8. 挿入と同格	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況 トピックに興味を持ち、理解 を深める活動ができたか	3

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
Clues to Reading 関係詞	9. 関係代名詞の複雑な構文 (I thinkの挿入など)	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況	1
SKYWARD CLOUD 9 比較文化	9. thatの働きを区別する	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況	1
1 学期期末考査	文法、読解問題を中心に、習得のレベルを測る。初見問題にも取り組む。	トピックに興味を持ち、理解 を深める活動ができたか 考査得点率 正答・誤答問題傾向分析	1
7 月			

8月	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	Clues to Reading 分詞構文 比較	1 0. 基本的な分詞構文、独立分詞構文 1 1. 比較の複雑な構文（倒置など）	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況	3
	SKYWARD CLOUD 1 0 エッセイ 1 1 日常生活 1 2 言語	1 0. 主観的文章の読み方 1 1. 「V + 0 + to do」の形で使う動詞 1 2. ~ingの働きを区別する	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況 トピックに興味を持ち、理解 を深める活動ができたか	3

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	Clues to Reading 省略 倒置	1 2. 省略表現 1 3. 副詞句、否定に伴う倒置	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況	4
	SKYWARD CLOUD 1 3 環境論 1 4 ノンフィクション 1 5 日本文化	1 3. 指示語に着目する (2) 1 4. 相関接続詞 1 5. パラグラフ・リーディング	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況 トピックに興味を持ち、理解 を深める活動ができたか	4
	2 学期中間考査	文法、読解問題を中心に、習得のレベルを測る。初見問題にも取り組む。	考査得点率 正答・誤答問題傾向分析	1

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	Clues to Reading 名詞構文 仮定法	1 4. 動詞、形容詞の名詞形の扱い 1 5. Ifのない仮定法	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況	4
	SKYWARD CLOUD 1 6 健康・医学 1 7 教育 1 8 政治	1 6. 名詞を後ろから修飾する節 1 7. 同格節を後ろに置く名詞 1 8. ディスコース・マーカー	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況 トピックに興味を持ち、理解 を深める活動ができたか	4

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	SKYWARD CLOUD 19 産業 20 科学技術	19. 副詞的用法の不定詞の意味のとらえ方 20. 一般常識の必要性	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況 トピックに興味を持ち、理解 を深める活動ができたか	2
	過去問演習	大学の過去問から選んだものを、演習問題として取り組む。	演習問題への取り組み 演習問題の内容理解・正答状 況 トピックに興味を持ち、理解 を深める活動ができたか	2
	2学期期末考査	文法、読解問題を中心に、習得のレベルを測る。初見問題にも取り組む。	考査得点率 正答・誤答問題傾向分析	1

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月			

2月	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				

年間授業計画様式例

東京都立翔陽高等学校 令和5年度 英語 英語会話 年間授業計画

教科：英語 科目：英語会話 単位数：2単位

対象学年組：第3学年 自由選択 H群

使用教科書：(ATLANTIS English Conversation (CHEERS))

使用教材：()

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
Lesson1 I like meeting new people	自己紹介の表現	音読活動 ワークシート ペアワーク ALTとの会話活動	2
Lesson1 I like meeting new people	他人紹介の表現	音読活動 ワークシート ペアワーク ALTとの会話活動	2

4
月

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	Lesson2 I usually wake up at 7:00 in the morning.	現在表現	音読活動 ワークシート ペアワーク ALTとの会話活動	2
	Lesson2 I usually wake up at 7:00 in the morning.	現在の習慣	音読活動 ワークシート ペアワーク ALTとの会話活動	2
	Lesson3 We're going to take a trip.	未来表現	音読活動 ワークシート ペアワーク ALTとの会話活動	2

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	Lesson3 We're going to take a trip,	自分の将来の夢・目標	音読活動 ワークシート ペアワーク ALTとの会話活動	2
	Lesson4 How about going to a party?	提案表現	音読活動 ワークシート ペアワーク ALTとの会話活動	2
	Lesson4 How about going to a party?	承諾・拒否の表現	音読活動 ワークシート ペアワーク ALTとの会話活動	2

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	Lesson5 You should take off your shoes.	アドバイス	音読活動 ワークシート ペアワーク ALTとの会話活動	2
	Lesson5 You should take off your shoes.	文化の違いについて話し合う	音読活動 ワークシート ペアワーク ALTとの会話活動	2

8月	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	Lesson6 We are not allowed to color our hair.	許可・ルール of 表現	音読活動 ワークシート ペアワーク ALTとの会話活動	2
	Lesson6 We are not allowed to color our hair.	ルールや法律について話し合う	音読活動 ワークシート ペアワーク ALTとの会話活動	2

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	Lesson7 How was your vacation?	過去表現	音読活動 ワークシート ペアワーク ALTとの会話活動	2
	Lesson7 How was your vacation?	過去表現	音読活動 ワークシート ペアワーク ALTとの会話活動	2
	Lesson8 I used to live in America.	子供時代について	音読活動 ワークシート ペアワーク ALTとの会話活動	2
	Lesson8 I used to live in America.	高校生活について	音読活動 ワークシート ペアワーク ALTとの会話活動	2

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
Lesson9 What were you doing on Christmas Eve?	過去進行形	音読活動 ワークシート ペアワーク ALTとの会話活動	2
Lesson9 What were you doing on Christmas Eve?	進行中の動作の比較	音読活動 ワークシート ペアワーク ALTとの会話活動	2
11月 Lesson10 Who is the funniest person in your school?	比較表現	音読活動 ワークシート ペアワーク ALTとの会話活動	2
Lesson10 Who is the funniest person in your school?	最上級表現	音読活動 ワークシート ペアワーク ALTとの会話活動	2

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	Lesson11 How long have you played the piano?	自分の経験について話す	音読活動 ワークシート ペアワーク ALTとの会話活動	2
	Lesson12 I wish I were rich.	自分の願望を表現する	音読活動 ワークシート ペアワーク ALTとの会話活動	2

1月	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

2月	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				